

# Hello there!

はじめまして、カナダのバンクーバーから来ましたリシャットユリトス (Yultuz Rixat) と申します。「リシャット」が名字、「ユリトス」が下の名前です。2014 年の 8 月上旬から、英語圏国際交流員として北海道庁に勤務しております。このプロフィールを開いて下さり、ありがとうございます。

名前や見た目だけですと自分がカナダ国籍だと一発で推測して下さる人はそうそういませんので、簡単な自己紹介をしたいと思います。まず出身地ですが、私は、1991 年に中国の新疆ウイグル自治区と呼ばれる地域で生まれました。いろいろな方に「ハーフなの？」と訊かれますが、両親ともウイグル自治区出身のウイグル人です。そして 2 歳の時に、父の仕事の都合で本州の埼玉県に住み始めました。



それから 12 年間、市内での引っ越し以外は大して動くこともなく、埼玉県で保育園から中学の途中までを過ごし、中学 2 年生、修学旅行を目前にしてこれまた親の都合でカナダのバンクーバーへと移ることになりました。当時の私にとってはだいぶ突然の出来事だったので、かなり困惑した状態のままこの島国を離れたのを今でもよく覚えています。そのようにして親に連れられカナダに移住し、バンクーバー市内の高校とブリティッシュコロンビア大学に通い、国際交流員として再び日本に戻ってきました。小さい頃から様々な趣味に触れてきましたが、その中でも書道や音楽（主にピアノとサクソなど）、読書などは、自分の中でも特別な位置づけになっています。

さて、先ほど自分はハーフではないと言いましたが、それは血筋の話であり、中身の話とは完全なる別のもので私は考えています。というのも、これだけ様々な地域の影響を受け、それぞれの場所では異なる言語でコミュニケーションを取り、そうやって生活していく中で、たった一言で「ウイグル人です」と自己紹介するのも、「カナダ人です」と自己紹介するのも何か違うのでは、と育っていく上で気づいたからです。自分はカナダ人であり、ウイグル人であり、そして日本人のような思考回路で動く時もあります。元埼玉県民としては、幼少期を過ごした地元であるあの海無し県のことにはひとつの故郷として大変愛しく思っており、今は着々とセイコーマート・ホットシェフの便利さや北海道弁の愛らしさに気づき始めたりしている最中です。

北海道に来ること自体は実は二度目で、2012 年の夏に数日間ほど、旅行の一環で札幌を訪れたことはあります。ですが当時の自分は、国際交流員になりたいとは漠然と思ってこそいたものの、まさかそのために北海道に戻って来ることになるろうとは一切想像してすらいませんでした。数ヶ月前に道庁から連絡を頂いたときは、嬉しい驚きでしばらくの間そわそわしていたのを覚えています。

ウイグル人としての血筋と親族から受け継いできた伝統や文化、埼玉県民として過ごした 12 年間に培った日本での経験、そしてバンクーバーで手に入れた 8 年間ぶんの経験や、カナダ人として過ごす上で学んだことなどをもとに、札幌市及び道内の様々な場所で、国際交流員として新たな交友関係を育みつつ有意義な時間を過ごせたらと思っておりますので、私にできることがありましたらぜひお声がけしていただけると嬉しいです。

ここまで読んでくださり、ありがとうございます。皆さま、どうぞよろしくお願いたします。